なかよし苗代っ子

令和8年 11月号
苗代小学校校長　北野 勝久
ＴＥＬ　0761-22-1041
ＦＡＸ　0761-22-1059
e-mail:nosiro-e@kec.hakusan.ed.jp

学校生活を支えるたくさんの人と思いやりの心



澄み渡る秋空のもと、子どもたちは充実した学校生活を送っています。

11月23日は「勤労感謝の日」です。学校生活を見渡しても、朝の通学路で見守ってくださる「わが町防犯隊」の皆様、温かい給食をつくってくださる調理員さん、本の読み聞かせなどをしてくださる図書ボランティアの方々、そして毎朝笑顔で送り出してくださる保護者の皆様など、多くの支えがあることに気づかされます。子どもたちが安心して過ごせるのは、こうした温かな支えのおかげです。

今月の生活目標は「思いやりの心をもとう」です。自分たちの生活が多くの人に支えられていることに気づき、相手に心を寄せる姿勢こそが「思いやり」の第一歩です。身近な人へ「ありがとう」と素直に感謝を伝えられる温かな心を育んでいきます。



さて、11月の第1週は、本校に多くのお客様をお迎えする機会に恵まれました。それに伴い、子どもたちには、**きらり☆がんばり週間**として、

「礼儀（あいさつ）」「真剣（授業に向かう姿勢）」「整頓（身の回りの整理）」

を意識し、あたたかな心をもってお客さまを迎えようと呼びかけました。



2日（給食試食会）： 小松市の越田副市長、山本教育長、市会議員の皆様が来校されました。授業参観のあと、1・2年生の教室を中心に子どもたちと一緒に給食を楽しみました。

4日（教育委員会訪問）： 県や小松市教育委員会の皆様が各学級の授業を参観されました。「**小松市の学校の中で一番あいさつが良い**」「**落ち着いて学習に向かっている**」と、たくさんの嬉しいお褒めの言葉をいただきました。

6日（授業参観・学校保健委員会）： 保護者の皆様には授業参観へのご協力、ありがとうございました。子どもたちの授業の様子はいかがでしたでしょうか。その後の学校保健委員会では、学校メンタルコーチの沢田知恵先生をお迎えし、「自分と人を大切にするために」というテーマでご講演いただきました。「ホントのきもち」や「プラスのことば」を大切にしようというお話があり、これからの学校生活にもぜひ生かしていきたいと思います。





朝晩の寒暖差が大きい季節となりました。ご家庭でも体調管理にご留意をお願いいたします。

本校で水痘が流行っています。（学校保健安全法により、「すべての発しんが痂皮化するまで」は出席停止となります。概ね 1 週間から 10 日くらいで痂皮化すると考えられます。）水痘は、感染力が強く、発生前から感染力があります。主な経路として、接触感染　空気感染がありえます。潜伏期間は 2～3 週間です。予防接種をしていても発生しますし、予防接種をしていない人は重症化の可能性があります。



学校生活から

後期役員任命式



10 月 29 日、後期児童会役員任命式が行われました。児童会執行部、各委員会委員長・副委員長・書記、学級代表がそれぞれ後期のリーダーとして、堂々と返事をしました。前期の各委員長からは活動のお礼、後期の各委員長は全校へのお知らせを伝えました。

金沢自主プラン



前日までは雨の予報でしたが、当日は晴。☀
６年生が「金沢の歴史や文化を学び、班で協力してルールを守り、笑顔で終われる自主プランにしよう」というめあてをもち、金沢自主プランに行きました。伝統文化を体験したり、外国の方とふれあったり、どのグループも自分たちで考え行動し、充実した一日になりました。

児童発表会



向本折小学校、蓮代寺小学校と本校の４年生が集まり、3 校で児童発表会が行われました。本校は「心をつなぐメロディ」という題名で「ありがとうの花」「世界が一つになるまで」の合唱を披露しました。とても素敵なハーモニーが体育館中に広がりました。

心と体の健康講座



助産師の坂谷さんをお迎えして、５年生を対象に、心と体の健康講座を行いました。お母さんのおなかの中で赤ちゃんや妊婦の疑似体験をし、命の大切さについて学びました。

イオン見学



３年生が社会科の学習でイオン新小松の見学に出かけました。食品売り場を中心に見学し、店員の方に仕事の喜びや苦労について質問しました。

小中連携あいさつ運動





今年 2 回目のあいさつ運動が行われ、本校を卒業した松陽中 2 年生が来校し、あいさつを交わしました。

演芸教室



関西演芸協会の方々をお迎えして、４～6 年生が落語や漫才を楽しみました。5 年生も、練習してきた漫才や「あいうえお」作文、太鼓を披露しました。

キラキラ　金メダルの花

運動会での友達のがんばりやよかったところを、一人一人がメッセージとして送り合いました。

